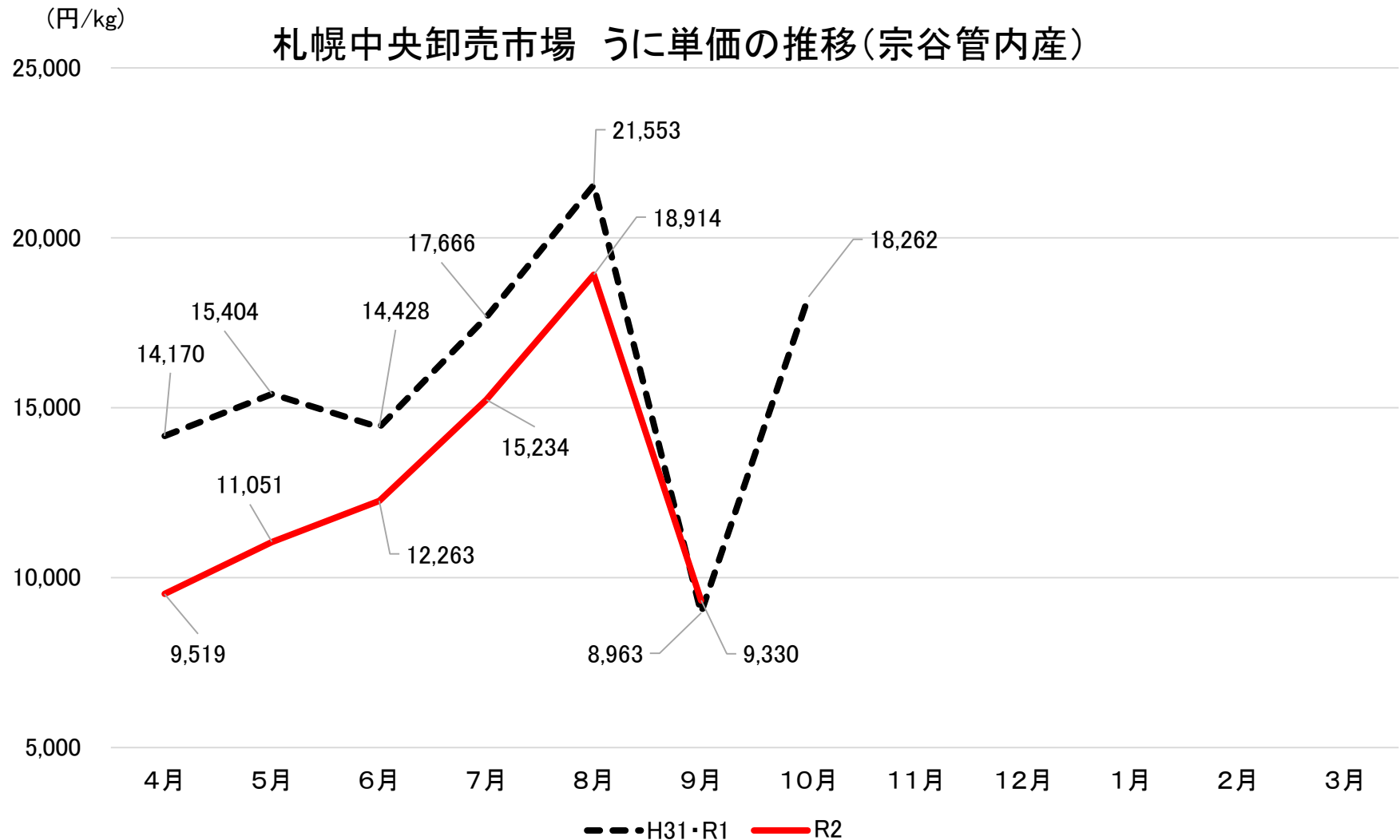


道産水産物価格の推移

- 新型コロナウイルスの感染拡大と期を同じくして、高級食材の価格が低迷。



出典: 札幌市中央卸売市場「水産物部市況統計」を基に道が作成

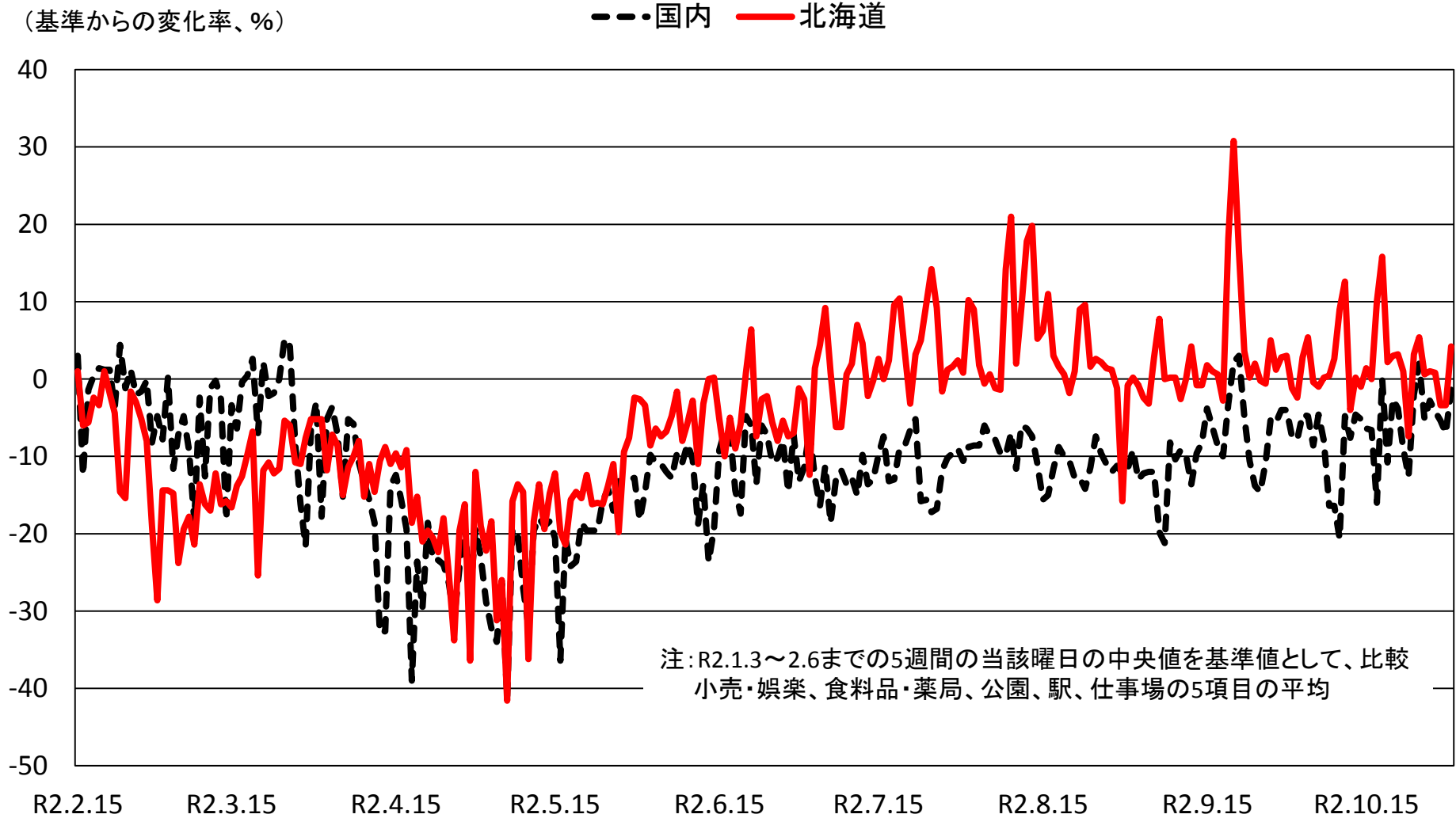
航空路線の運航状況(世界)

- 世界の航空路線の輸送量(旅客距離)は、感染拡大に伴い急激に減少。
- 回復傾向にあるものの、その動きは依然として弱い。



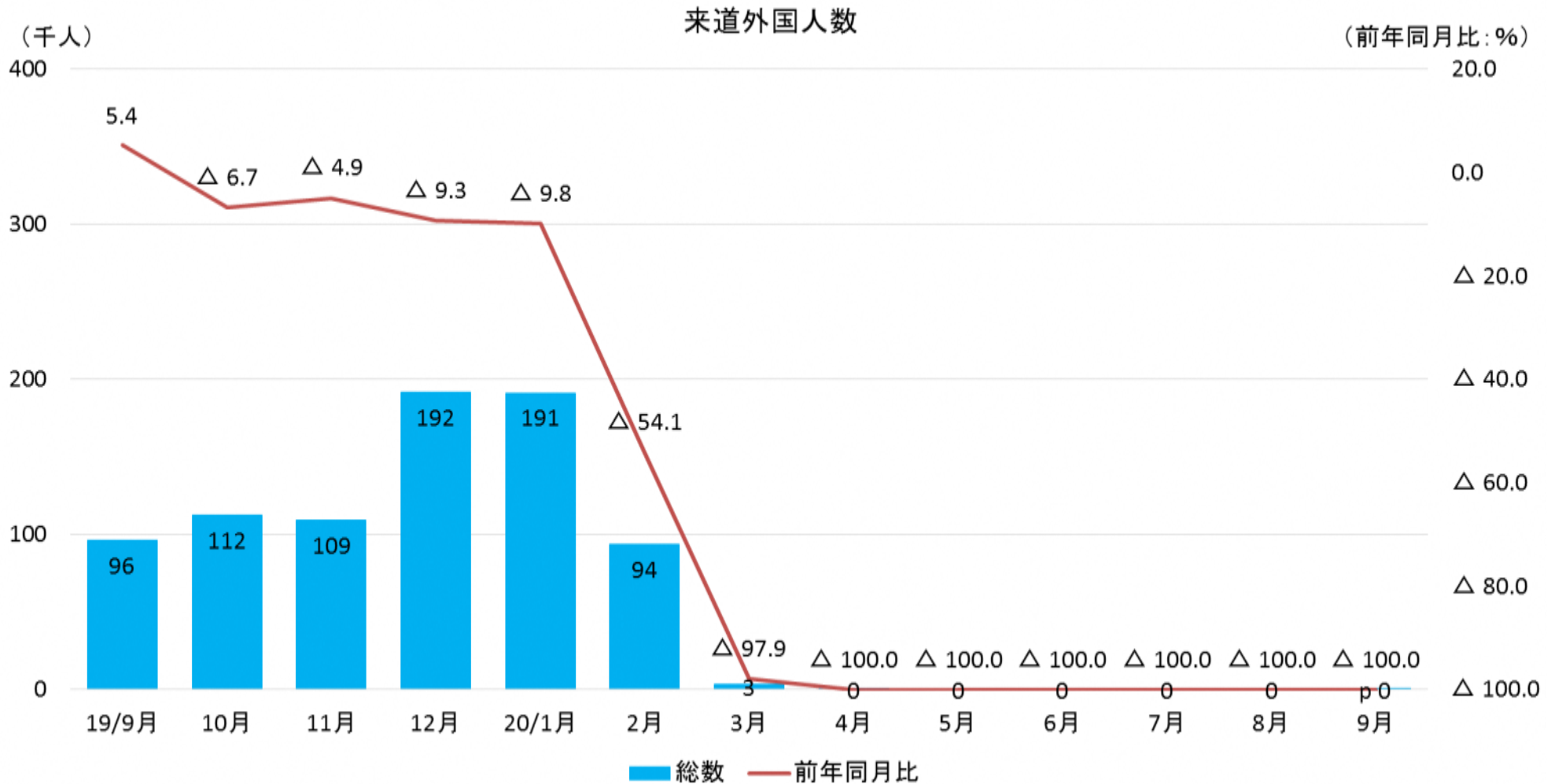
人の活動量の変化(国内・道内)

- 感染拡大に伴う外出自粛などの行動抑制により、一時的に人流は停滞したが、徐々に再開。



来道外国人数

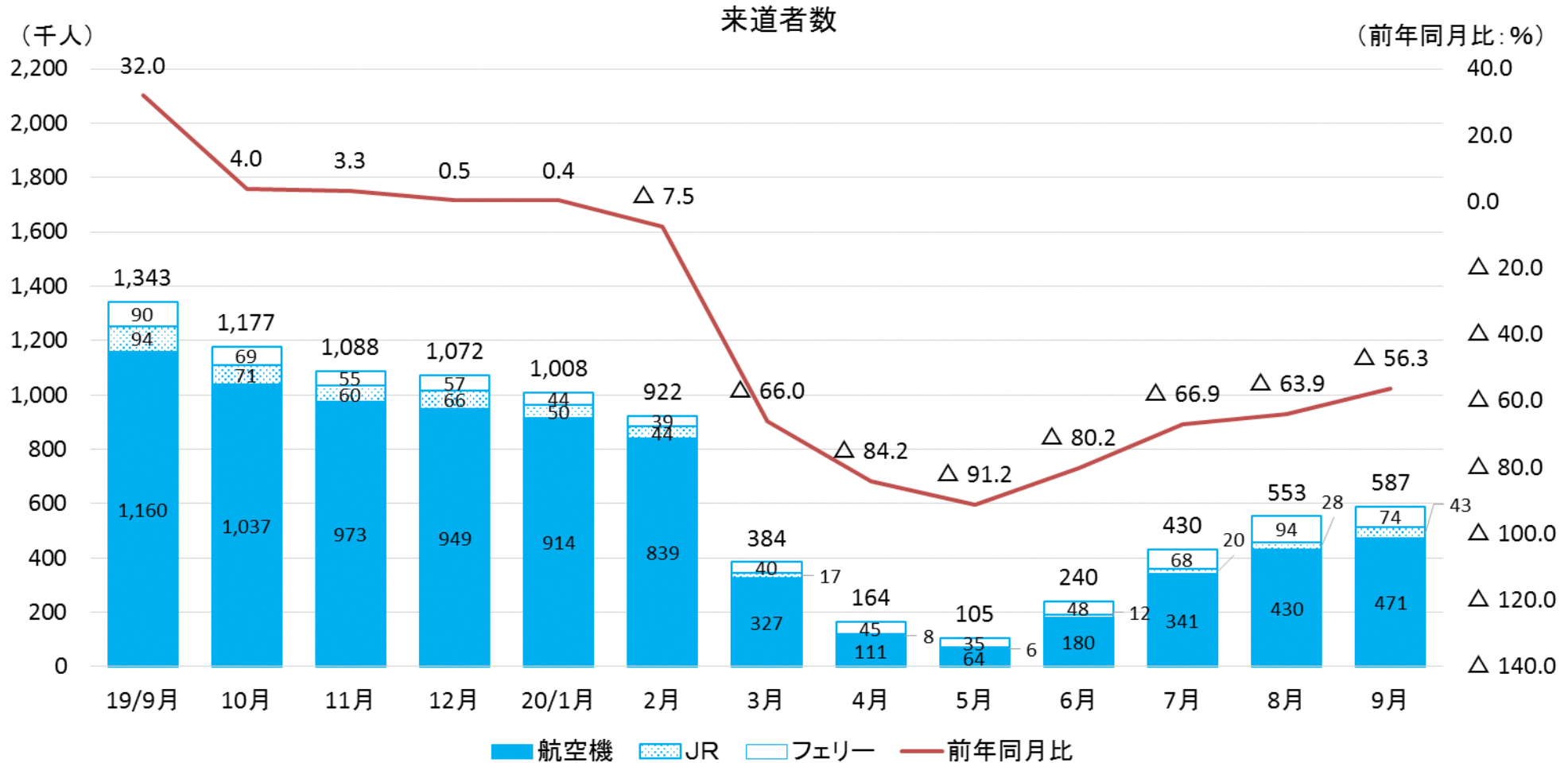
- 本道に直接入国した外国人(2020年9月)は、0人で前年同月比100.0%の減少となり、12か月連続で前年を下回った。



出典: 法務省「入国管理局調べ(速報値)」を基に道が作成

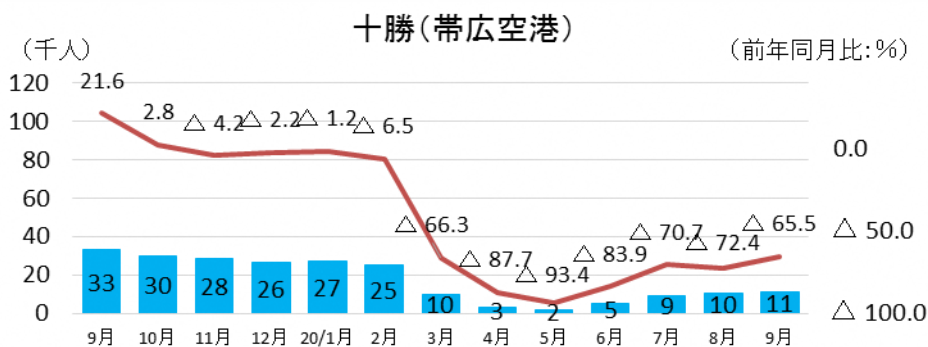
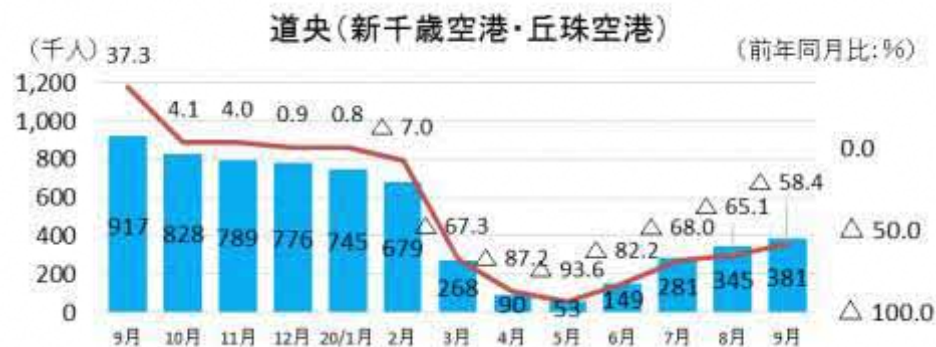
来道者数

- 来道者数(2020年9月)は、58.7万人で前年同月比56.3%の減少となり、8か月連続で前年を下回った。



各圏域の航空機利用による来道者数

・前年同月比でみると、2020年3月に大きく減少し、5月を底に回復傾向にあるが、低迷が続いている。



出典:(公社)北海道観光振興機構の取りまとめ資料を基に道が作成

宿泊者数

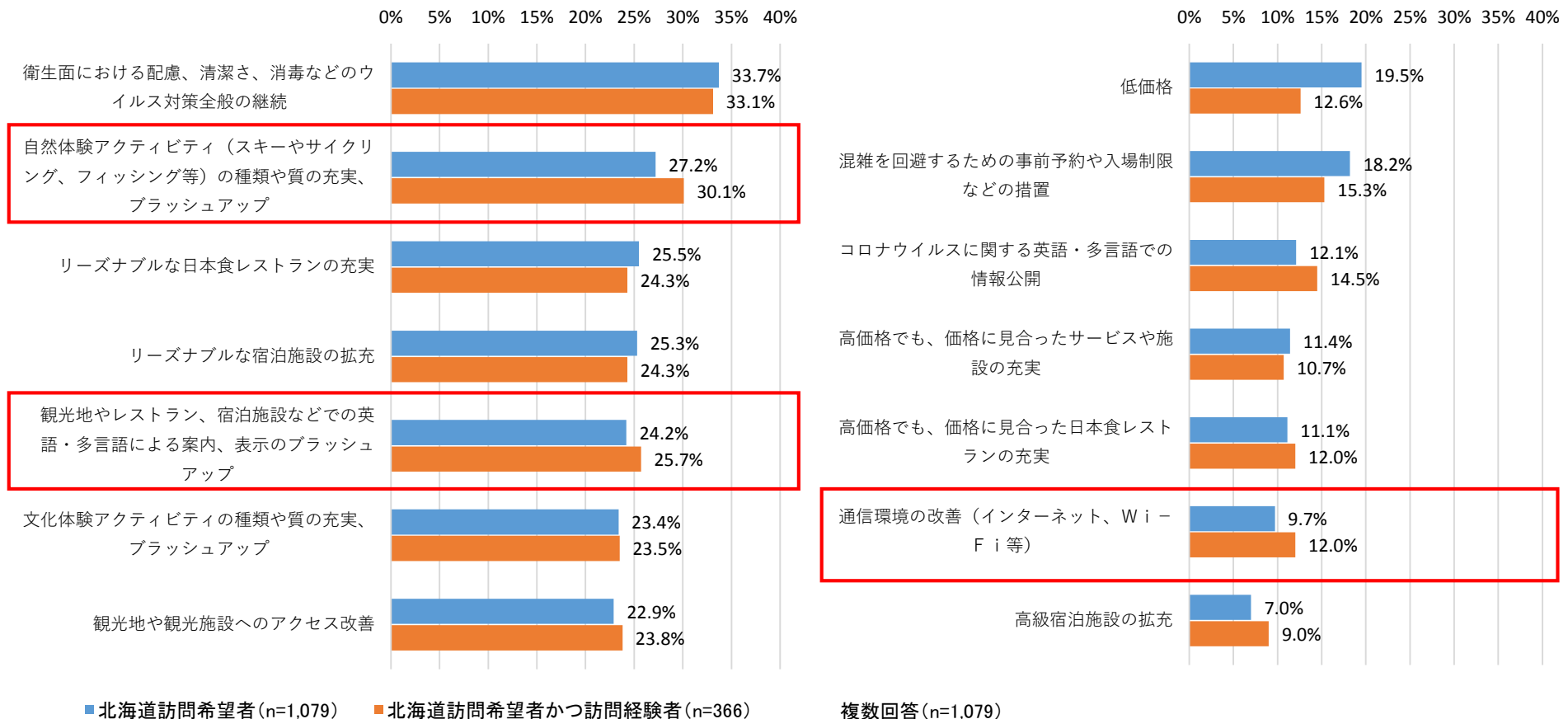
- 日本旅館協会加盟施設の宿泊者数(2020年9月)は、350,703人で前年同月比35.2%の減少となり、11か月連続で前年を下回った。
- このうち、国内客は350,449人で同26.4%の減少、訪日客は254人で同99.6%の減少となった。



北海道旅行に期待すること

- 「ウイルス対策の継続」への期待が最も高くなっている。
- 北海道訪問希望者かつ訪問経験者では、「自然体験アクティビティ」のほか、「観光地での英語・多言語による案内、表示」や「通信環境の改善」への期待が高くなっている。

新型コロナ終息後に北海道旅行に期待すること(北海道訪問経験者の傾向)

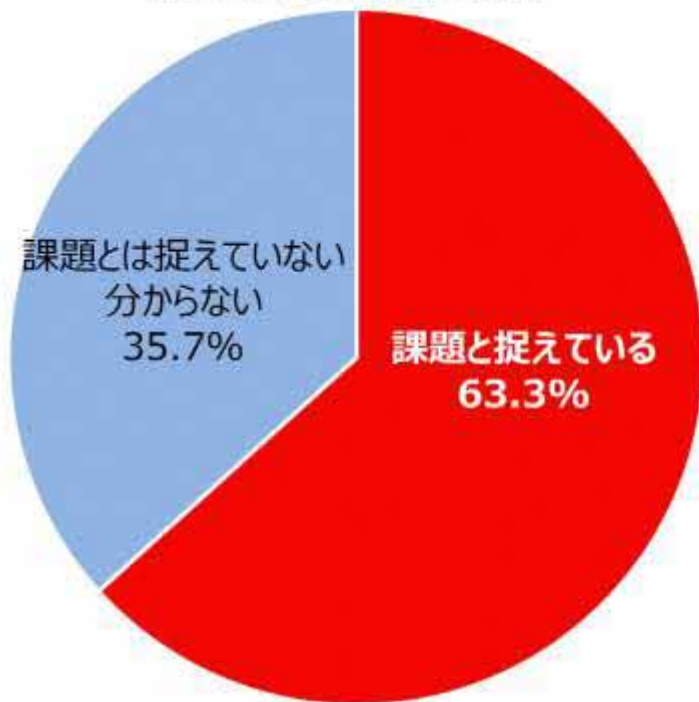


サプライチェーンの見直し

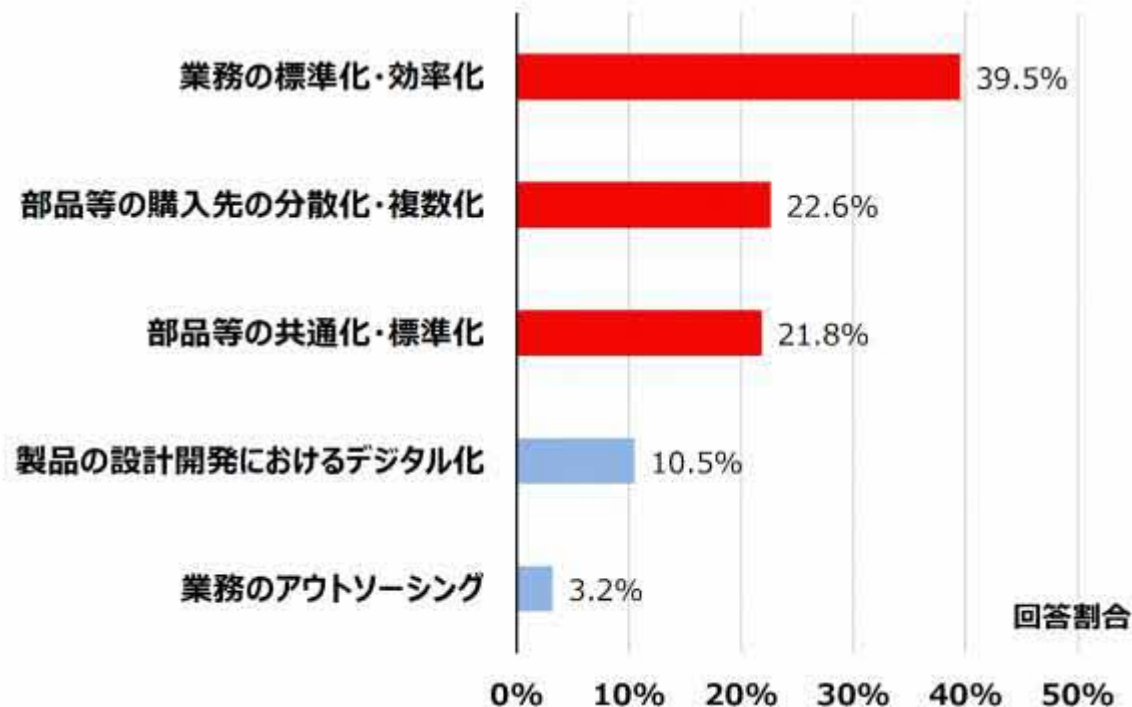
- 今後注力すべきサプライチェーン上の課題として、「業務プロセスの改革」が必要と考えている企業は、全体の63.3%。
- 課題の内容としては、業務の標準化・効率化(39.5%)、部品等の購入先の分散化・複数化(22.6%)、部品の共通化・標準化(21.8%)などが挙げられている。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大での経験を踏まえて、 今後注力すべきサプライチェーン上の課題（製造業）

「業務プロセスの改革」を課題と捉えている企業の割合



うち、課題の詳細（単数回答）



人・地域

大学の海外留学の現状・見通し

- NPO法人海外留学安全対策協議会の調査(2020年9月)では、97%の大学が夏の海外留学を中止、春休みの海外留学についても24%が中止、半数以上が検討中となっている。

【データ】コロナ禍における大学の海外留学の現状・見通し調査

特定非営利活動法人海外留学生安全対策協議会(JCSOS)は16日、コロナ禍における大学の海外留学の現状・見通しを大学関係者に調査した結果を発表した。

夏の海外留学は97%が実施中止、春休みの実施は中止・検討中が多数。今後1~2年は留学者数減の見込み。

大学の海外危機管理をサポートするJCSOS(NPO法人海外留学生安全対策協議会/所在地・渋谷区/理事長 池野健一)は、2020年9月に、会員の163校を対象にコロナ禍における大学の海外留学の現状と今後の見通しについて、【第2回】新型コロナウイルス感染症(COVID-19)と海外派遣に関するアンケートを実施し、72校から回答を得ました。

アンケート結果によれば、97%の大学が夏の海外留学を中止しました。また、春休みの海外留学はすでに24%が中止、半数以上は実施を検討中とし、多くの大学で今後の海外留学の見通しが立っていません。

一方、大学が海外留学を再開する際に、多数が外務省の危険レベルを判断基準としていて、海外留学再開には留学先の新型コロナウイルス感染症危険レベルの緩和が待たれます。また、現地派遣先学校等からの情報も海外留学再開判断において重要視されています。

コロナ禍以前の留学状況に戻るまでには44%の大学が1年から2年の期間を予測し、海外留学者数が減ることが見込まれます。

【調査概要】

実施要項

調査名:【第2回】新型コロナウイルス感染症(COVID-19)と海外派遣に関するアンケート

調査期間:2020年9月1日~9月7日

調査対象:JCSOS会員

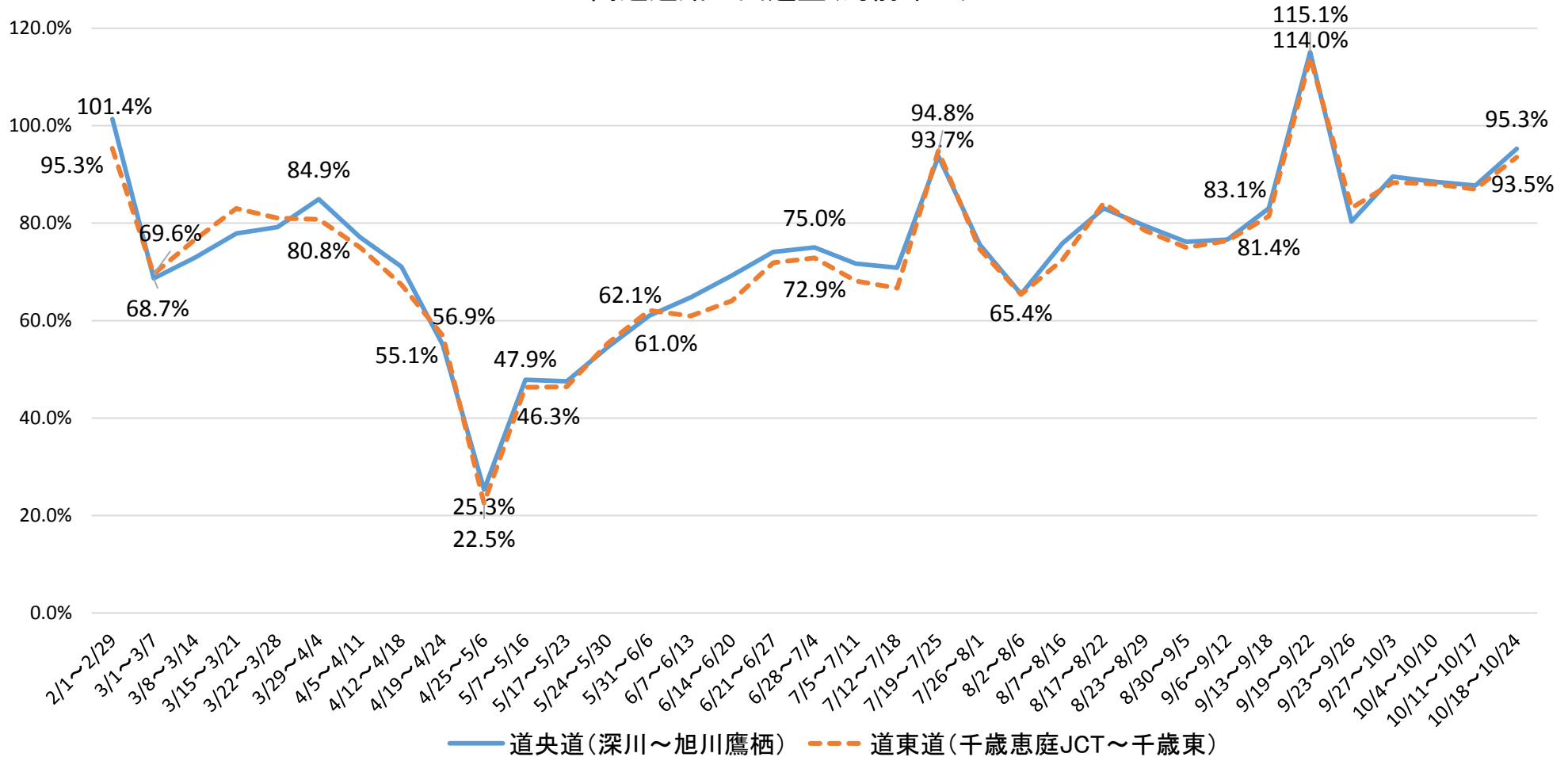
調査方法:インターネット上に設置したアンケートフォームへの回答

有効回答数:72件

高速道路の交通量

- 道内の高速道路の交通量は、ゴールデンウィーク期間を中心に大きく減少したが、緊急事態宣言の解除後、緩やかな回復傾向にある。

高速道路の交通量(対前年比)

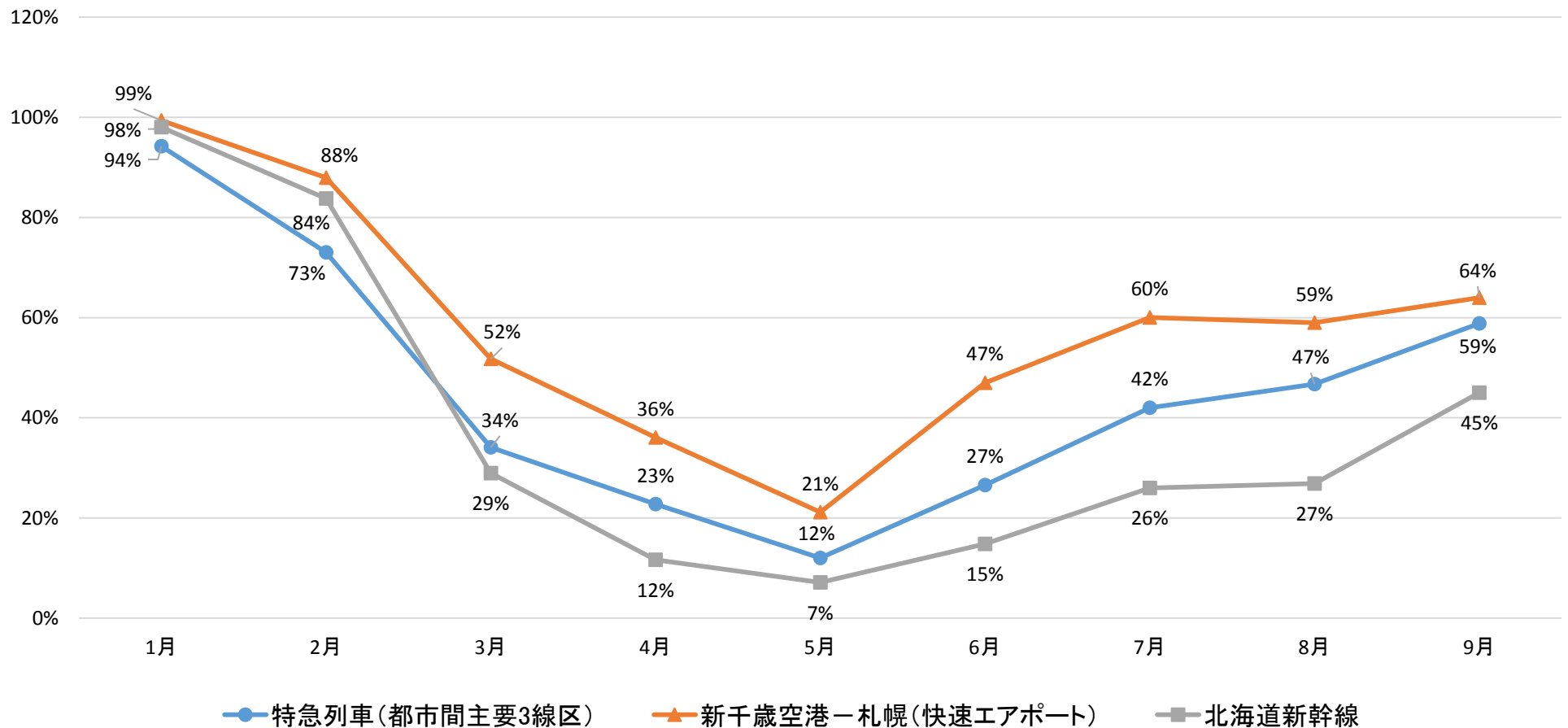


出典:国土交通省「全国・主要都市圏における高速道路・主要国道の主な区間の交通量増減(週別資料)」を基に道が作成

鉄道(JR北海道)の利用状況

- 道内の鉄道網の大部分を担うJR北海道の利用状況は2020年5月を底として回復傾向にあるものの、依然として対前年比で大幅な利用者減となっている。

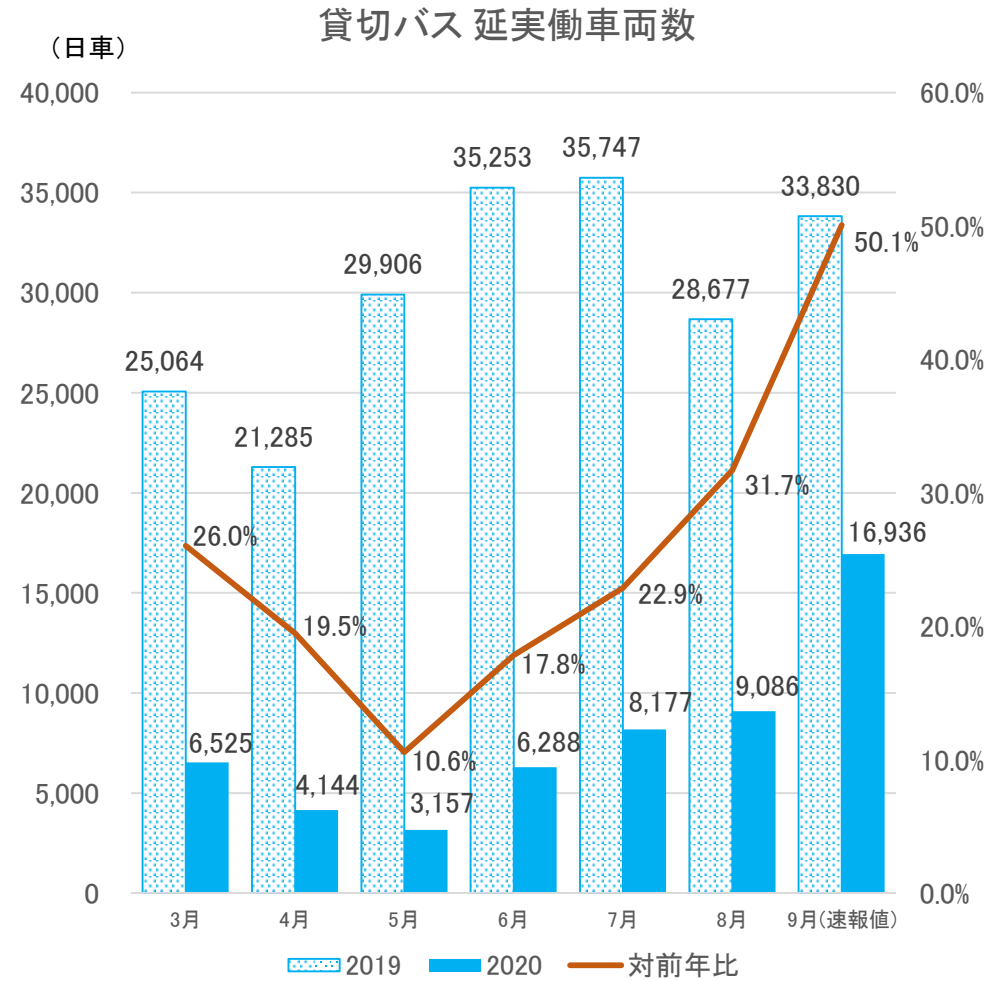
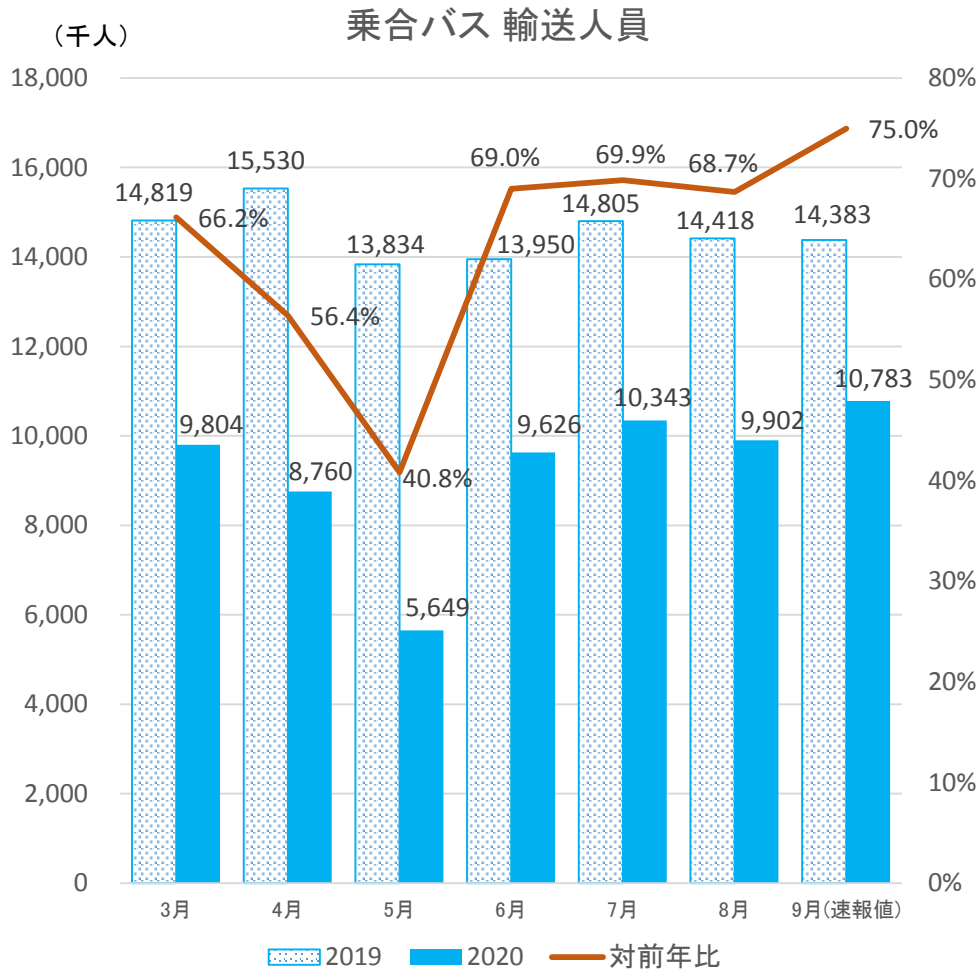
利用状況(対前年比)



出典:北海道旅客鉄道(株)公表資料を基に道が作成

バスの輸送量

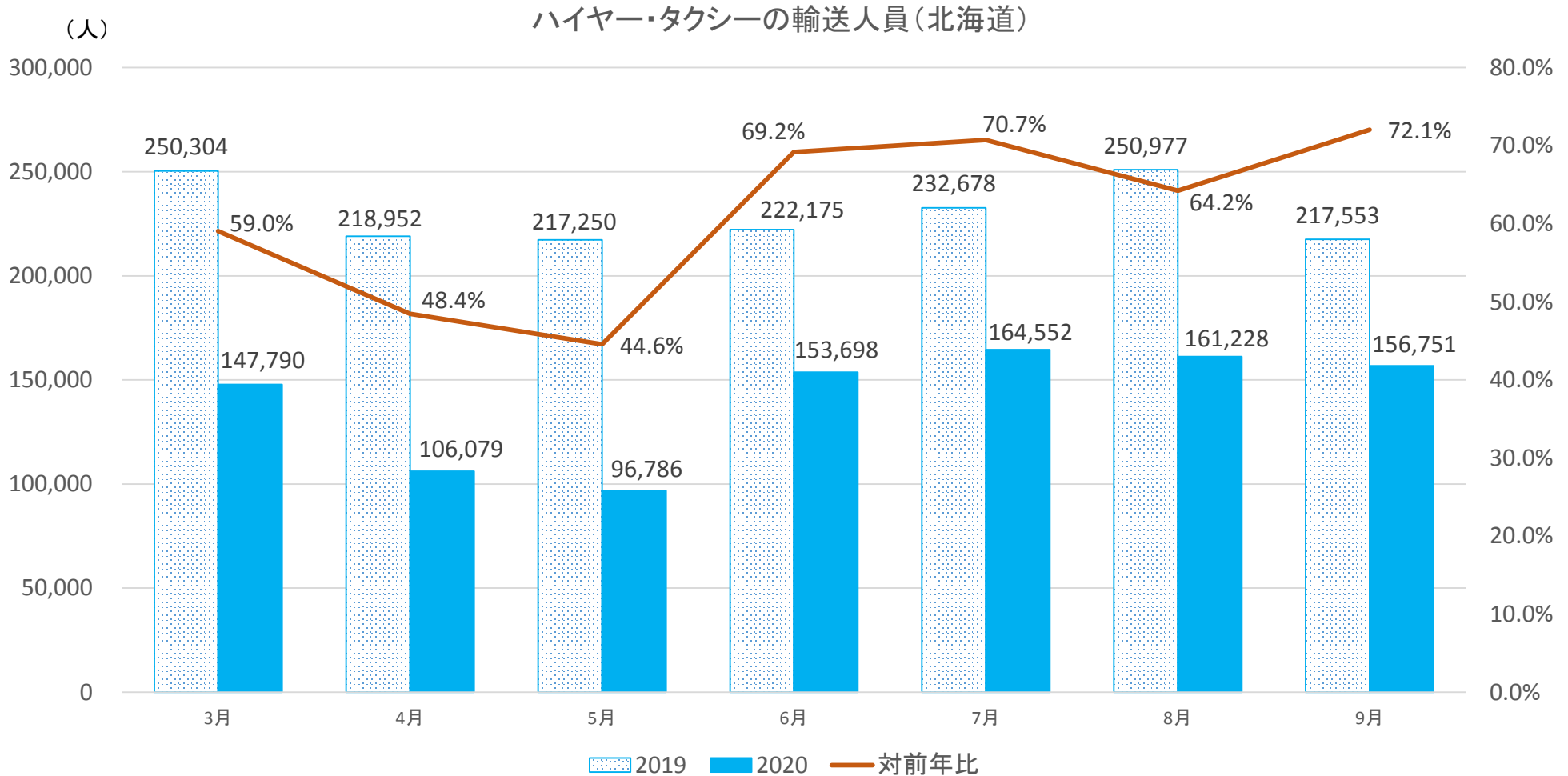
- バスの輸送量は、2020年5月を底として回復傾向にはあるが、前年と比較すると、依然として厳しい状況にあり、特に、貸切バスの減少が顕著。



出典：(一社)北海道バス協会からの提供データを基に道が作成

ハイヤー・タクシーの輸送量

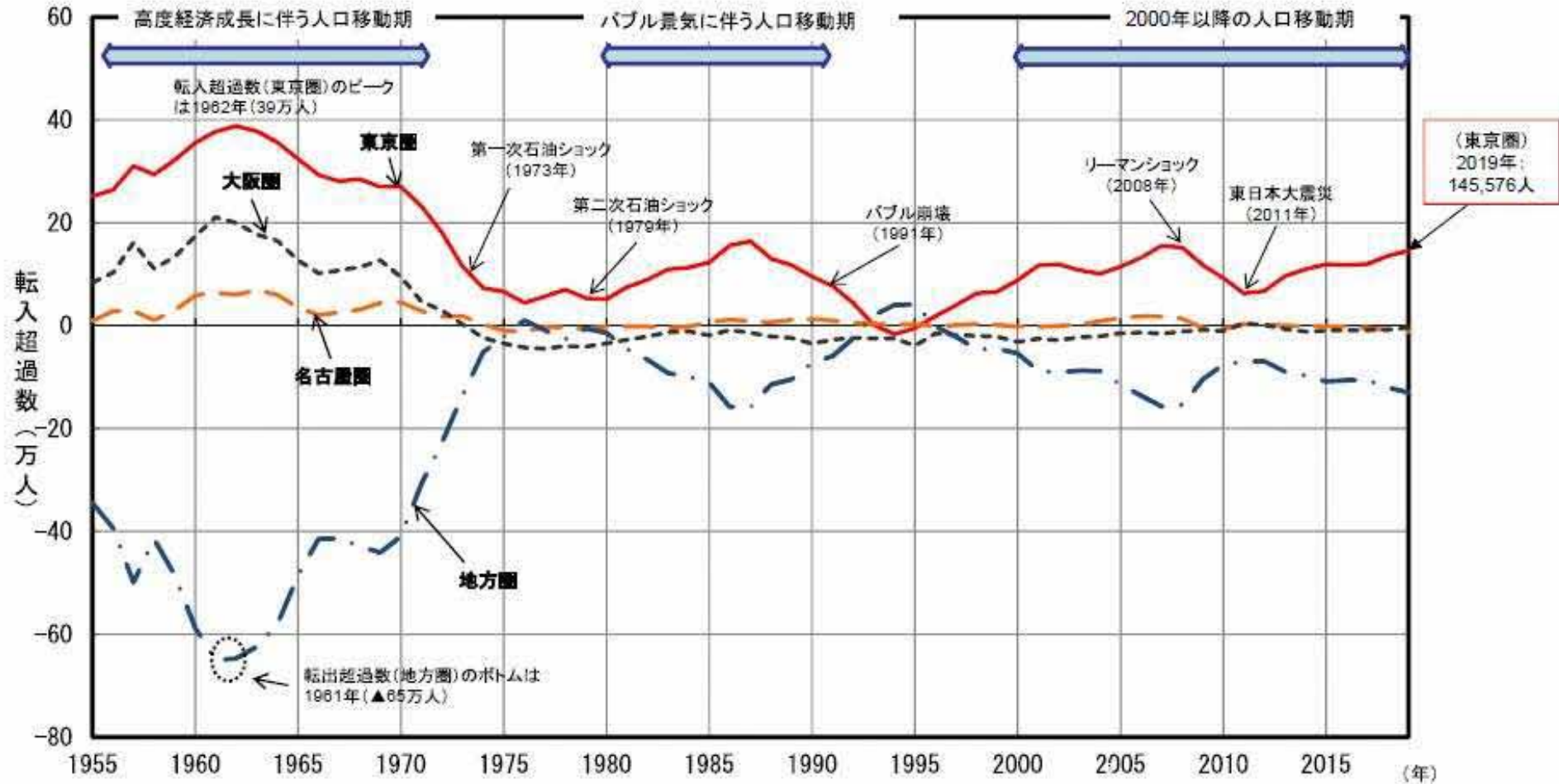
- ハイヤー・タクシーの輸送量は、2020年5月を底として回復傾向にあるものの、依然として厳しい状況。



出典:(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会からの提供データを基に道が作成

三大都市圏の人口集中とそれ以外の地域との比較

- 東京圏への転入超過傾向は概ね継続しており、東京一極集中の構造は是正されていない。

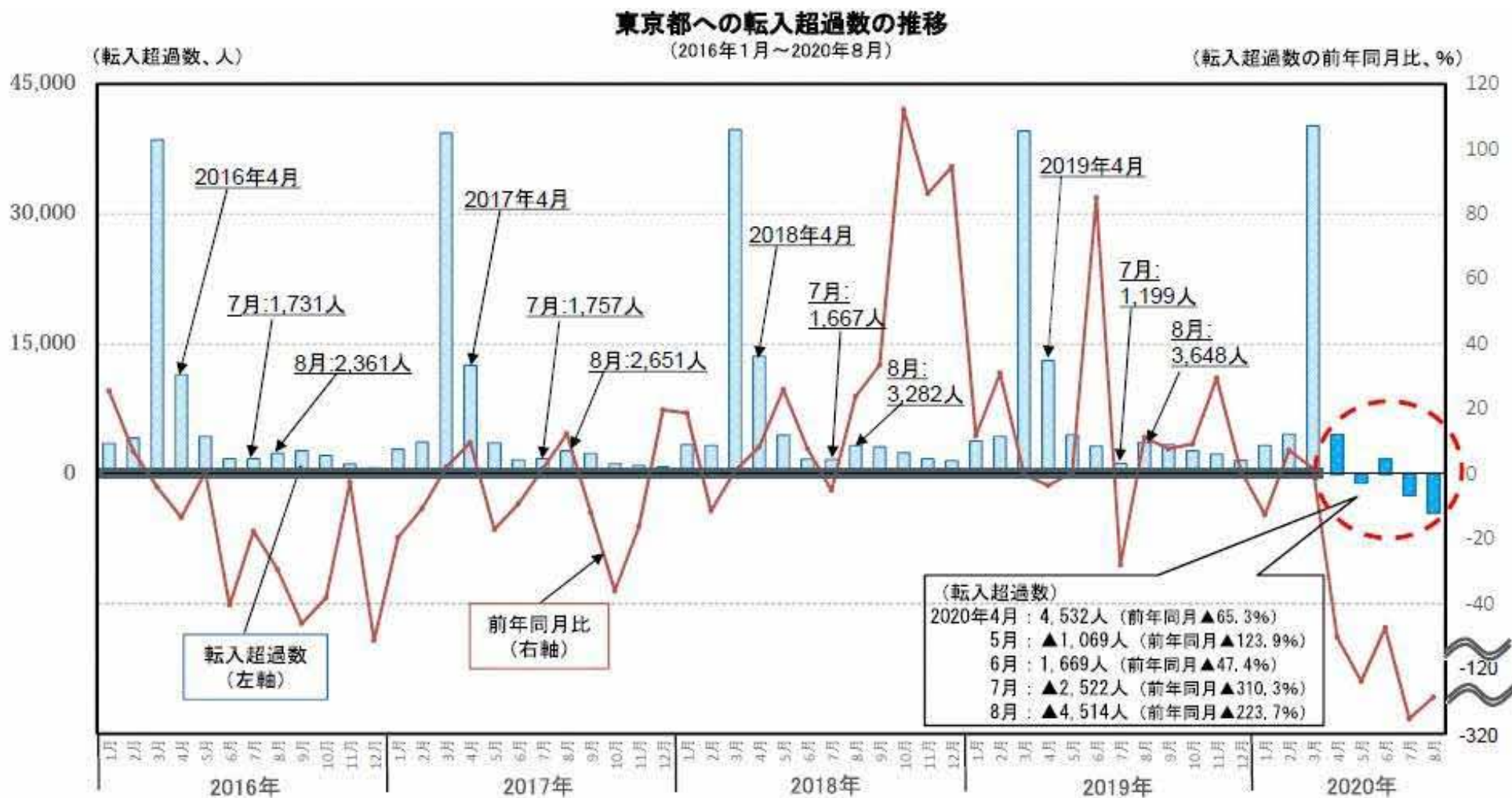


出典：国土交通省『「国土の長期展望」中間とりまとめ 参考資料』（2020年10月）

東京都への転入超過数の推移①

- 東京都への転入超過数は、2020年5月には2013年7月以降初めての転出超過となり、7月及び8月も転出超過が続いた。

(総務省の住民基本台帳人口移動報告によれば、9月も転出超過が継続)



出典：国土交通省『「国土の長期展望」中間とりまとめ 参考資料』(2020年10月)

東京都への転入超過数の推移②

- 2020年5月から9月までの東京都からの転出者数の合計は144,904人となっている。
- 道府県別にみると、神奈川県、埼玉県、千葉県順に多く、上位3県で56. %と過半数を超えており、大阪府、愛知県と続き、北海道は6番目に多い。

東京都からの転出者数の多い道府県(2020年5~9月の合計)

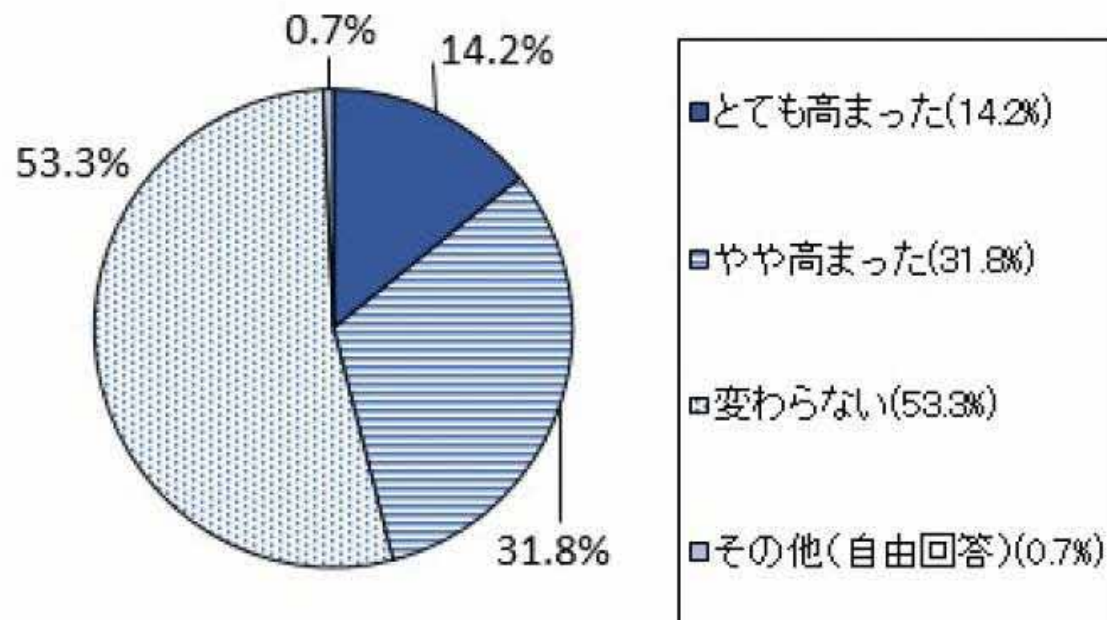


移住に係る意識の変化①

- 新型コロナウイルスの感染拡大で地方暮らしへの関心が高まった人は46%と半数近く。
- 地方暮らしをしたい地域は、「北海道」がトップ。

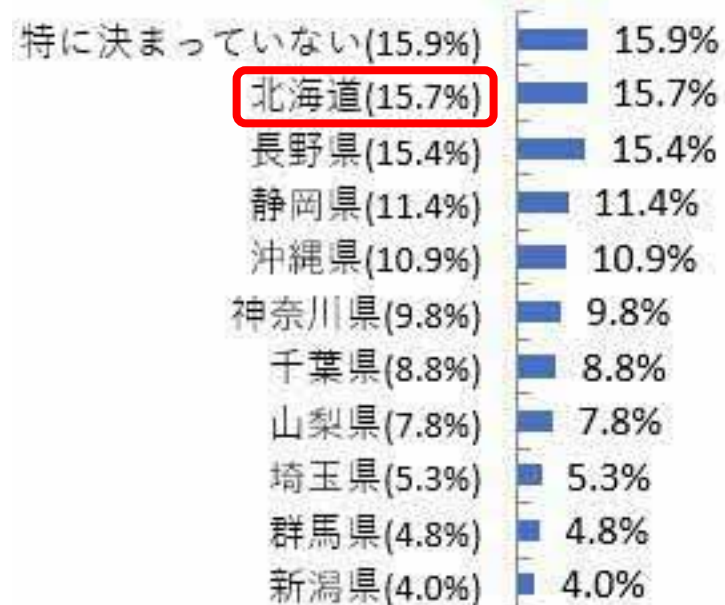
地方暮らしへの関心の高まり

Q2 あなたは新型コロナウイルスの感染拡大で地方暮らしへの関心が高まりましたか？ (n=604)



Q8 あなたが地方暮らしをしたい(またはしている)東京以外の道府県はどこですか？ (n=604)

※複数回答/トップ10を表示



移住に係る意識の変化②

- 年代別では20歳代、地域別では東京都23区に住む者の地方移住への関心は高まっている。

地方移住への関心のさらなる高まり

